



第 59 卷 総 目 次

昭和 51 (1976) 年

【論 說】

中世前期の「散所」と給免田	網野善彦	一
岡山藩徴租法の研究	田中誠二	一四一
西晋時代の諸葛孔明観	狩野直禎	一八六
ヘスとマルクス	谷口健治	二〇七
トルーマン政権と忠誠問題	島田真杉	二六五
バロンの反乱	朝治啓三	二〇二
現代農村の地域秩序とその変容	浜谷正人	二二七
畿内の家形石棺	和田晴吾	三三一
八〇一〇世紀の林田農業と家地経営	畑井弘三	三七〇
中世末期のリューベックにおける市民闘争	服部良久	四一六
侍・凡下考	田中稔	四九九
近世国役普請の政治史的位	笠谷和比古	五三〇
雍正帝の治政と年羹堯断罪事件	大谷敏夫	五七五
ゲッベルス像の修正	中村幹雄	五六一
齋藤内閣の成立をめぐる	山本四郎	七〇二
ポリシエヴィキとツインメルヴァルト運動	山内昭人	七三九
搔器研究法	山中一郎	七七九

便補保の成立について.....	勝山清次	六	(八三三)
ロシア史料より見たグシ汗の事績.....	若松寛	六	(八七四)
パリ講和会議と日本・中国.....	藤本博生	六	(九〇二)

【ノート】

所謂「平城京市指図」について.....	今泉隆雄	二	(二六二)
マフムード朝研究史料覚書.....	服部直人	三	(四五六)
中世イギリスにおける領主都市の二類型.....	武居良明	六	(九三〇)

【研究動向】

ビザンツ「都市・市民」研究の動向と課題.....	井上浩一	四	(六二〇)
第十四回国際歴史学会議に出席して.....	藤枝晃	二	(二八三)

【書評】

国書刊行会編『中国・朝鮮の 史籍における日本史料集成 明実録之部(一)』.....	間野潜龍	一	(一三八)
森本公誠著『初期イスラム時代エジプト税制史の研究』.....	佐藤圭四郎	一	(一四四)
原随園著『アレクサンドロス大王の父』.....	村田数之亮	一	(一五〇)
日本塩業大系編集委員会編『日本塩業大系 史料編 古代・中世(一)』.....	上島有	二	(二九〇)
黄培 (Pai Huang) 著 <i>A Study of the Yang-cheng Period, 1723-1735</i> .....	大谷敏夫	二	(二九六)
新行紀一著『一向一揆の基礎構造』.....	金龍静	三	(四八六)

A I Chicherov : *India, Economic Development in the 10th-18th*

*Centuries, Outline History of Crafts and Trade*.....

前嶋信次編『シルクロード事典』.....

三宅正樹著『日独伊三国同盟の研究』.....

J・H・エリオット著  
越智武臣・川北稔訳『旧世界と新世界 一四九二——一六五〇』.....

瀬野精一郎著『鎮西御家人の研究』.....

山田憲太郎著『東亜香料史研究』.....

Karl Schmitt, *England in einer sich wandelnden Welt*.....

岸田達也著『ドイツ史学思想史研究』.....

【紹介】

福岡考古学研究会編『九州考古学の諸問題』.....

山田達夫編著『明治前期京都府林政史資料』.....

和歌山県史編さん委員会編『和歌山県史 中世史料 一』.....

柴田実先生古稀記念会編『柴田実先生古稀記念日本文化論叢』.....

大牟田章著『アレクサンドロス大王』.....

山中共古著『甲斐の落葉』.....

護 雅夫著『古代遊牧帝国』.....

【会告】

会費値上げについて.....

『史林』投稿規定.....

長 嶋 弘 四 (六三七)

浜 田 正 美 四 (六四四)

野 田 宣 雄 四 (六四七)

池 本 幸 三 五 (八二〇)

工 藤 敬 一 六 (九五七)

植 村 泰 夫 六 (九六四)

富 沢 靈 岸 六 (九七〇)

中 山 治 一 六 (九七五)

(一五八)

(三〇五)

(三〇七)

(六五三)

(八二六)

(八二六)

(九八一)

(一六一)

(一六一)

史学研究会役員と『史林』編集委員の異動	三	(四九四)
『史林』バックナンバー在庫分のお知らせ	三	(四九五)
史学研究会顧問 中村直勝博士 訃	四	(六五五)
昭和五一年度春季定例理事会・評議員会の報告	四	(六五七)
『史林』投稿規定	四	(六五七)
昭和五一年度史学研究会大会・総会のお知らせ	五	(八二九)